

筑波大学附属病院における新型コロナウイルス感染症対策

～ 本院におかかりの患者さんへ ～

令和2年9月15日
筑波大学附属病院

筑波大学附属病院では、利用するすべての方にとって安心して医療を受けられる体制を維持するために、下記のとおり厳重な感染防止対策を継続いたします。なお新型コロナウイルス感染症の有無に関わらず、特定機能病院として当院での診療が必要な患者さんについては、すべての方の診療を行っております。皆様のご理解・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

入院診療

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、当院では、院内感染対策の一環として、入院するすべての患者さんに、入院前に新型コロナウイルス PCR 検査を受けていただくこととしております。

外来診療

- 医療機関からの紹介状をお持ちの患者さんの初診は、通常通り予約を受け付けております。事前に新型コロナウイルス感染症を疑わせる症状が出ていないかを確認させていただくことをご了承ください。
- 病院内においてソーシャルディスタンスを確保できるよう、再診の患者さんにつきましては、引き続き[電話再診](#)をお勧めしております。

面会禁止

- 入院中の患者さんへの面会については、病状の説明や容体変化時など、医療者側から来院をお願いした場合以外は、面会禁止とさせていただきます。

体調管理・感染予防

- 当院に来院するすべての方に対して、病院入口で体温測定をさせていただきます。新型コロナウイルス感染症が疑われる患者さんについては、主治医の判断によって当日の外来診察が予定通り行われない場合があることをご了承ください。
- 職員は、全員、マスクを着用しています。当院に来院するすべての方と入院中の患者さんにも、マスク着用をお願いしております。